



転んでもへっちゃらです！

広報 ひがし しらかわ

1993
平成5年

2

No. 381

●発行／東白川村
●編集／企画財政課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747(8)3111
●印刷／下呂印刷株式会社

人口の動き

— 1月末住民登録人口から —

世帯数	910世帯
人口	3,444人
転入	9人
転出	4人
出生	4人
死亡	7人

先月と比較して2人増
昨年と同月と比較して
34人減

忘れたところにやって来た…

「今年の冬はもう降らないのかなあ」子どもたちの願いが天に通じたか？1月28日夕方から降りだした雪は、東白川小学校裏山のミニゲレンデを真っ白にしてくれました。

待ちに待った子どもたち、自慢の手作りそりで気持ち良さそうに風を切りました。



笑顔満開の2年生

画

愛子さんの「春宵」 せせらぎ荘を彩る



せせらぎ荘の玄関を飾る「春宵」

本村出身で日本美術院の院友であり、院展の常連入選者でもある日本画家田口愛子さんが、このほどせせらぎ荘にすばらし

い作品を寄贈して下さいました。画題は「春宵」。独特なタッチで描かれたこの作品は、二月中にせせらぎ荘の玄関ホールに展示される予定になっています。お年寄りたちの安らぎの場であり憩いの場であるせせらぎ荘にお目見えするこの作品は、利用者みなさんの目を和ませるとともに新しい自慢の一つになりそうです。

木

林業の村だからこそ 自分たちの手で



市後の検討会では真剣な意見が

「木を切ってお金にするという一番大切な部分が人まかせに

なってしまうって…」こうした疑問から三年前に始まった林業グループ独自の「市」。

これからの村の林業を支える後継者たちが伐木、造材、評価といった過程を勉強するためのアイデアです。「出荷量も年々増えており、親の理解も得られるようになった。効果は上がっています」と会長栗本重秋さんは話してくれました。

歌

対抗から鑑賞へ、レベル 上がった合唱フェスティバル



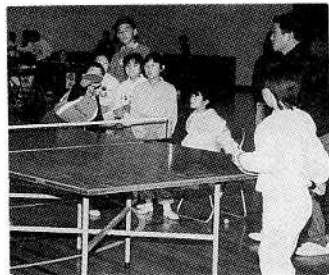
三年生は最後の合唱フェスティバル

二月一日、中学校で合唱フェスティバルが開かれました。

これは昨年まで合唱コンクールと呼んでいた行事。「ともすればクラス対抗、学年対抗となりがちだった行事でしたが、生徒自身の意見で本当に合唱を楽しむために審査などをなくして名称もフェスティバルにしました」とは熊崎校長先生のお話。会場には、父兄など多数詰めかけ、生徒たちの練習の成果に聞き入っていました。

球

中学生も加わった！ 子供会親睦卓球大会



「球が思ったところへ行かないよ」

去る十二月十三日に子供会親睦卓球大会が小学校体育館で開

かれました。十九回を数えるこの大会ですが、今回からは中学一年生までが加わり団体戦も十八チーム出場。熱戦の末、日向・曲坂Aチームが優勝しました。☆個人戦優勝者（敬称略）
中一—安江邦晴（陰地）・六年—安江美代子（日向）・五年—今井忠樹（陰地）・四年—安江章徳（大明神）・三年—安江理菜（日向）

■戸籍の窓 十二月十六日

一月末 敬称略

誕生おめでとうございます

（神付）早瀬 尚史 友亮

（柏本）今井 明德 寧菜

（下親田）安江 和良 慶

いつまでもおしあわせに

（今井）聡（大明神）

（渡邊）美香（美濃加茂市）

（梅田）和正（春日井市）

（小倉）比登美（大沢）

（小池）直樹（岐阜市）

（熊澤）はるみ（大明神）

（け） おくやみ申し上げます

（い） 古田きぬ江 82歳（平）

（じ） 村雲まさゑ 73歳（下親田）

（ば） 林 かの江 66歳（大明神）

（ん） 安江 富枝 63歳（曲坂）

（け） 今井 一郎 82歳（大沢）

（い） 安江 稔 27歳（柏本）

（じ） 古田 兼二 88歳（上親田）

（ば） 安江 眞澄 86歳（大明神）

（ん） 木曾喜久二 83歳（平）

■善意の寄付 敬称略

（こもれびの館備品指定寄付金）

現金四万円 匿名

【社会福祉施設整備基金指

中学校の すばらしい 取り組み 校則改正



『頭髪改正には、今年だけでなく今までに長い取り組みがありました。五年前に始まり、今年度までに至る長い取り組みの間にも先輩方の苦労が多くあったと思います。そして、ついに頭髪改正することができました。その裏には、先生方や父兄の協力がありました。しかし何よりも地域の人の温かい支援があったからこそと思います。これは、十二月七日に中学校で頭髪の自由化が決まり、生徒会長が生徒に呼びかけた文の冒頭です。改正まで五年。先輩から受け継がれた大きな宿題に取り組んだ東白川中学校の姿を追ってみました。』

校則改正の経緯

東白川中学校に校則ができたのは、昭和三十九年。当時あった越原分校と中学校が統合した翌年のことです。その校則の中には「男子一丸刈りとする・女子一短髪とし、各種の装飾品やパーマネット外流行による髪型は禁止」（昭和三十九年「広報七十六号参照」となっています。

それから約三十年、頭髪の自由化が実現したわけですが、中学校で校則改正論議が起こったのは昭和六十三年度。新聞やテレビで校則問題が、社会問題として大きく扱われるようになったところ。当時一年生のクラスで「なぜ、この校則を守らなければならぬのだろうか」という疑問を発端として、校則問題の話し合いが始まりました。クラ

スでの話し合いは、次第に広がりを見せ、そのクラスの中から翌年度の生徒会役員選挙に、「校則改正」を公約に掲げた生徒が出馬し当選しました。

平成元年度の生徒会活動で本格的に校則改正に着手。元年度、全校生徒を対象にした校則アンケートでは、百二十九人中八十九人、六十八人が改正を望んでいました。特に頭髪については、改正を望む声が「どちらともいえない」という意見も含めれば八十四人に達しました。その反面、同時期に保護者への同様のアンケートでは、頭髪の自由化に賛成したのはわずか二十四人。生徒の意識とはまだ差があり、ただちに実現するには至りませんでした。

しかし、校則改正に対する生徒会の取り組みはねばり強く、

平成二年度へと引き継がれ、この年には、改正したい点を具体的に掘り下げて、頭髪、カバンなど項目別にしほり、討議を繰り返して、「校則改正に関する要望書」が提出され、その成果として通学用カバンに関する事項が、「いわゆる学生カバンとそれを補うカバン」と決まっていた校則が、「経済的に用途に適したものを使用する」と改正されましたが、まだこの時点で頭髪については、PTAから「時期尚早」との解答により保留となりました。

生徒会活動を通して校則の一部を改正した生徒たちの中から「自分たちの力を変えてきた校則なのだから自分たちの手で守っていかなければ」という考え方が次第に芽生え、その表れとして注目したいのは、平成三年度から生徒会活動の一環として開始された自分たちの校則を守る運動です。

そして迎えた平成四年度、生徒会では、持ち越しとなっていた頭髪問題改正をテーマに活動を展開。一学期には、三回にわたる生徒総会を開き、六月の末には、生徒会長から学校長へ次のような文書が提出されました。



山口孝一郎さん
(白川高2年生)

これからが大切!

「もう少し早い時期に改正になれば良かったけど、本当によく頑張ったと思います。しかしこれから先がもっと大

『前期生徒会では校則改正をテーマに、四月から活動が続けられました。その中で校則を見直す運動が、校則を守る運動まで広がってきました。今日のクラス発表の中にもあったように、一つの集団生活を営むうえで、私たちの校則の本当の意味を常に判断して守っていくこうとする態度が最も望ましい姿です。その姿が、今後の集団生活で自分たちを高めていくことになるのです。クラスごとで方法は違いますが、私たち生徒会は、自分で自分を判断し、今、校則を守っていくことを誓います。』

わしい校則とはどうあるべきかを今までの活動を通して親子で腹を割って話し合いました。その結果、保護者の意識調査では賛成が百三人中、五十六人。中間意見の人も含めれば、頭髪自由化の賛成意見は、七十六人、七十三人に及び、この問題に取り組む生徒の真剣な姿勢に理解が集まりました。

賛成した父兄の意見は、個性・自主性を尊重するためというものが多数を占め、逆に反対意見には、経済面や今後のエスカレートを懸念する声がありました。こうした意見も含め、生徒総会で最終的に生徒側としての改正案をまとめ、十月二十四日、生徒会長から学校長へ「頭髪に関する校則改正要望書」が提出

切になるのではないのでしょうか」と話してくれたのは、山口孝一郎さん(下野)。山口さんは頭髪などの校則を見直す運動の先駆けとなった、昭和六十六年中学一年生だった一人。「テレビなどの影響もあったけど校則に疑問を持ったことがきっかけでした」と当時を振り返ってくれました。

され、職員会、PTA本部役員会の検討を経て、校則の中の「男子は丸刈り。女子はおかつぱ、又はショートカット、髪の長さは首までとし、リボン等の装飾品を使用しない」という表現をなくし、「経済的で整髪に時間をかけなくてもよく、清潔で中学生らしい髪型とする」と改正されたのです。

校則は16歳教材じゃ

さて、「中学生らしい髪型」というのは具体的にどのようなものでしょうか。この判断は中学生自身にゆだねられたのです。生徒たちは、もう一歩突っ込んだ話し合いをしました。そして次のような呼びかけを行うことにしたのです。

「校則改正のための生徒総会、学級討議を行う中で「校則の中で守られていない所があるのに改正して良いのか」という考えが出ました。そこで各クラスで、守らなければならない校則を見つけ、それらを守ると宣言し「校則を守る運動」として活動を進めてきました。この守る運動に弾みをつけたのは、総会の「頭髪が自由になったのなら、どんな髪型でもよいのか」とい

う意見がきっかけでした。「中学生らしい」というと、はっきりした範囲がないのです。自分の髪型は自分で判断する必要があるのです。だからこそ私達は、自分で判断する力をつける必要があると考え、今まで守る運動を通して自分達を高めるため活動してきました。そして具体的に次のように考えます。①染色・脱色はしない②装飾品(リボン、ヘアバンド等)をつけない③パーマをかけない。これを受けた熊崎校長先生の次の言葉がこのすばらしい取り

組みの全てを物語っているようです。「校則も一つの教材なんです。ただ守りなさいというだけでは意味がない。生徒自身がなぜ、きまりが守れないのか、どうしたら守れるようになるかを考え見出すことが一つの学習なんです。東中の生徒は、全員このレベルに達しています。中学生という多感な時期、ともすれば、反抗・対立といった方向に走りやすい時に、長い時間をかけさまざまな経験を積み重ねてやり遂げたこの成果に拍手を送りたい気持ちです。

中学生との1問1答

今回の校則改正について生徒会役員のみなさん(会長―桂川義貴さん・副会長―古田麻子さん・庶務―村雲悠紀さん、安江洋さん、服田ゆかりさん)に話を聞きました。

【質問】改正から二か月、生徒の反応を教えてください。

―男子の約九割は髪を伸ばしていますが、中途半端に伸びた髪に手を焼いているようです。また、女子は部活の時に髪が縛れるので評判は上々です。

【質問】今後、頭髪がみだれ

執行部のみなさん

る心配はありませんか。

―毎年、生徒会で話し合っていますし、今は生徒どおし注意ができる状態です。今後は、一人一人の自覚が大切です。

【質問】校則とは何ですか。

―集団生活を営むうえで必要な最低のルール。自分たちの校則だから自分たちにふさわしいものが必要だと思います。





華やかに新成人の出発

五十八人が大人の仲間入り

たびだち

雪ならぬ小雨となつた「成人の日」の一月十五日、新成人の門出を祝う「東白川村成人式」が、村民センター大集会室で行われ、対象となつた五十八人のうち、男十九人、女三十三人、合わせて五十二人が出席しました。

午前中の記念式典では、村から成人証書と記念品が贈られ、桂川村長が「皆さんが生まれ育つたふるさとを愛し、ふるさとへの愛着と新たな希望に向つて英知を結集した努力を期待する次第です」とあいさつ。次いで現在名古屋市内に住む平出身の小池征之さんが、新成人を代表して力強く誓いのことばを述べました。

昼食を兼ねた記念会食では、

生まれて始めて口にするお酒（？）で乾杯！。すっかり同窓会ムードに……。また、午後からは幸協直人とフラウト・ラ・モレーによるミニコンサート。美しい調べに耳を傾け、新成人としての自覚を新たにしていきました。

◆めでたく大人の仲間入りをした新成人は、次の皆さんです。

(一) 内は世帯主氏名〓敬称略

☆印は村内在住者十一名

【大 口】今井範子(正道)

【平】栗本和志(保彦)・小池征之(正憲)・☆田口清隆(武)・村雲允征(一仁)・伊藤まなみ(安行)・斎藤麻倫(満)・村瀬伊津子(寛治)・安江佳恵(龍次)・安江美香(征勝)

【下親田】安江孝文(徳之)・安江嘉久(誉)・☆有田千夏(亨)・島倉佳代(正量)・☆安江万奈美(保表)・安江快子(里巳)

【上親田】大坪和代(兼行)・島倉洋子(完)・安江伸子(康



新成人の誓いをのべた小池征之さん

助)・安江美起子(義勝)・山口めぐみ(貞美)

【中通】高井由紀(吉男)・田口悦子(旧姓〓新田・久男)

【神 付】早瀬浩也(寛)・安江こず江(啓次)

【中 谷】安江恵(美好)

【加倉尾】今井三和(光彦)・新田恵巳(充)・新田みき(久)

【西 洞】☆安倍健一郎(徹)・安江知美(務)・安江麻理子(正彦)

【日 向】今井智之(和博)・安江美紀(信一)

新成人直撃

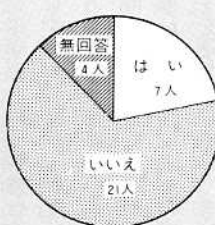
広報では、成人式に参加した新成人を対象に、アンケートを実施しました。回答のあったのは式典参加者五十二人中三十二人。村内在住者は五人でした。

解答の多いものを紹介します。

Q1、新成人としての感想は？

うれしい・自分の行動に責任を持ちたい・複雑・嫌だ・両親に感謝したい ほか

Q2、将来村に戻りたい(村に定住したい)と思いますか？



村に住みたい 21.9%

「はい」の理由

知り合いが多い・環境が良

い・住み心地が良い ほか

「いいえ」の理由

職場がない・不便・今の仕事

事が楽しい・嫌だ ほか

Q3、将来の村を考えた時、何が一番必要だと思いますか？

職場・交通の便・スーパー

やデパート・人・自然……

正しくお早めに確定申告を

今年も確定申告のシーズンがやってきました。平成4年分の所得の申告が必要な人や、所得税の還付申告を必要とされる人は、必要書類を用意して2月16日から3月15日までの下記の相談日に会場へお出かけ下さい。期限までに申告されませんと加算税(金)などがかかります。

指定日に都合の悪い方は他の日で結構ですのなるべく早めに済ませて下さい。後半は込み合って待ち時間が長くなります。また、ご自分で必要事項を全て記入できる人は、申告書を役場税務係へ郵送して下さいでも結構です。

※ お 願 い

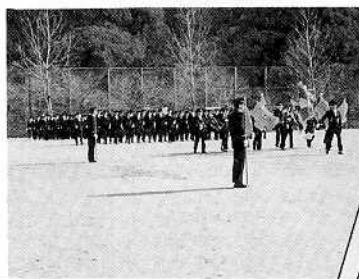
役場庁舎新築計画に伴う村民センター改修工事のため、申告相談会場が3月8日から村民センター3階の農村青年室となります。階段がありご迷惑をおかけすることになりますがよろしくお願いします。(階段を上ることが苦痛な方は勝手ながらなるべく3月6日までに申告相談を済ませて下さい。)

月 日	対 象 集 落 等	備 考
2月16日(火)	柏本	◎ 相談会場 村民センター 3月6日まで 2階第一会議室 3月8日から 3階農村青年室
2月17日(水)	宮代、下野	
2月18日(木)	大沢、久須見	
2月19日(金)	曲坂、桧山	
2月20日(土)	中谷(午前中)	
2月22日(月)	日向1班～4班	◎ 相談時間 ◎ 相談時間 平日午前9時から 午後4時30分
2月23日(火)	日向5班 陰地1班～3班	
2月24日(水)	陰地4～6班	
2月25日(木)	黒瀬	
2月26日(金)	大明神1～3班	
3月1日(月)	この日は税務署から 通知のあった人のみ を対象とします。	◎ 持参品 筆記用具、印鑑 各種証明書 保険料支払証明書 水稲被害証明書 医療費領収書 森林施業計画証明 源泉徴収票 など
3月2日(火)	大明神4～6班	
3月3日(水)	下親田、中通(下)	
3月4日(木)	加舎尾、中通(上)	
3月5日(金)	上親田	
3月6日(土)	神付(午後2時まで)	
3月8日(月)	西洞	
3月9日(火)	大口、平1班～3班	
3月10日(水)	平4班～8班	
3月11日(木)	平9班～12班	
3月12日(金)	前日までに申告の済 んでいない人	
3月15日(月)	申告、納付期限	



あこがれの晴れ着姿に思わず笑顔が

- 【陰 地】桂川淳之(澄)・後藤貴行(光夫)・☆荻田米子(正)・松岡八千代(勝司)・村雲美和子(静香)・安江比奈子(浩)・☆安江真知子(明夫)・
- 【桧 山】☆西田睦美(旧姓安江・一美)
- 【黒 瀬】板垣恒春(和也)・熊沢一晃(寛)・安江あかり(真一)
- 【大明神】☆島倉朗(功)・☆林智樹(昇)・☆高井恵子(産)・田口いつみ(徳)・田口真紀(政司)・安江章江(晴夫)
- 【柏 本】☆今井潤(克彦)・栗本康弘(忠一)・栗本美幸(房枝)
- 【大 沢】梅田雅也(典孝)・今井純子(照夫)
- 【美濃加茂市】田口孝二(忠一)



堂々とした分列行進



新春恒例の東白川村消防団出初式が一月五日、東白川小学校校庭で行われ、青山県議会議員ほか多数の来賓を迎えて、防災の誓いを新たにしました。

また、出初式の表彰に先立ち、二十二年間にわたり消防団活動にご尽力された元副団長安江廣文さんが、消防庁長官より退職報償の銀杯を受けられました。

なお当日、表彰を受けられたのは次の皆さんです。(敬称略)

- ◆岐阜県知事表彰
【功労章】副団長—安江庄三
- ◆岐阜県消防協会長表彰
【功績章】分団長—安江宏・中島清彦・牧野知幸
◆可茂県事務所長表彰
【功労章】副分団長—大坪孝由・松岡安幸
◆中濃ブロック協会長表彰
【感謝状】分団長—荻田和博
▽副分団長—安江敏治▽部長—鈴木礼二・安江雅明・村雲佐江樹▽班長—早瀬尚史
◆加茂郡消防協会長表彰
【功績章】副分団長—古田節也・桂川和巳▽部長—藤井悟・安江一郎・安江敏・今井幸彦・高井三郎【勤労章】部長—小池毅・藤井悟・中島甲子生・今井幸彦▽班長—村雲知巳・村雲裕・田口昌弘・安江博文・安江達哉▽団員—加藤治昭

- ◆東白川村消防団長表彰
【功績章】分団長—荻田和博▽団員—河田孝・安江修治・安江元樹・村雲春巳・栗本尚樹・安江全生・古田辰夫・今井英史・今井幸泰・安江雅次・今井繁人・安江正隆・安江正和・三戸行美・桂川誠・安江茂夫【勤労章】班長—荻田章雄▽団員—木村恒久・安江利保・今井敬治・田口良之・古田正貴・今井克幸・桂川透・馬淵祐弘・桂川幸裕・松岡常好・今井孝司・安江稔



頭と体の使い初め… 新春恒例各種大会

雪もなく穏やかな幕明けとなった平成五年。みなさんはどんな風にお正月を過ごされましたか？
「書き初め」のように年の最初に行うことを「初め」といいますが、今年も熱心な愛好家による各種大会が正月期間中に開かれ、寒さを吹き飛ばす汗のかき初めとなりました。

伝統はここから 生まれる！

東白川中学の伝統的なスポーツは？と聞かれれば、バスケットと答える方が多いと思います。昨年は、東中バスケット部が、地区大会で久し振りに優勝し、県大会に出場するなど「古豪東中ここにあり！」とばかりに話題を振りまいてくれましたが、恒例となつて



女子チームの熱闘！

いる新春バスケットボール大会が二月二日、中学校体育館において行われ、中学生から一般まで約百人を超す愛好者らが参加して熱戦を繰り広げました。

選手の中には、「親子で参加」といった家族の姿も見られるなど、親から子へとその伝統は、

しっかり守られ受け継がれているようです。

大会の結果は次のとおり。

【男子の部】一位―岐阜農林高校生チーム・二位―一般体協バスケットチーム

【女子の部】一位―高校生混成チーム・二位―一般女子チーム

また、同じく二日、東白川小学校体育館では、中学生から一般までが参加した新春バレーボール大会が、翌三

日中学校体育館では新春ビーチバレー大会がそれぞれ

開かれ、愛好者たちが新春のさわやかな汗を楽しみました。

腕だめし・運だめし

頭の体操

バスケットやバレーボールの

おしらせ

山村活性化講演会 が開かれます

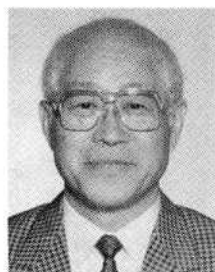
今年で三回目を数える「山村活性化講演会」。今回は講師に旭川市の買物公園や十勝ワインによる北海道池田町の開発など地域開発、まちづくりプランナーとして活躍中の日本ふるさと塾主宰萩原茂裕先生を迎え、「人づくりから始まるむらづくり」と題しての講演会が次の日程で行われます。

● 実例を交えながらユーモアたっぷりに語りかける先生の講演にぜひお出かけ下さい。

● とき／二月十八日（木）

午後一時三十分より

● ところ／村民センター



萩原茂裕先生

ひょうたんを作って

ギネスに挑戦しませんか

昨年いろいろな記録が生まれた「ギネス東白川何でも村一番」。このギネスの取り組みについては、新聞紙上でも何回か掲載され、村内だけではなく村外でもすっかり定着した感があります。折しも昨年の暮れ、「新聞でギネスのことを知り、ぜひこの種で記録を作って欲しい」と各務原市のある方からひょうたんの種約二百粒が送られてきました。

種は「天下一」という品種で大きく育つと一畝以上になるとのこと。現在ひょうたんの公認記録は一畝、四・五畝。この「天下一」の種で記録に挑戦したいと思われる方は、種をお分けします。ご連絡下さい。

【問い合わせ先】役場企画財政課（番）二二八五 ※数に限りがありますのでご了承ください。





神土投票所の様子

任期満了に伴う岐阜県知事選挙の投票が一月三十一日に行われました。

本村も午前六時のサイレンの吹鳴とともに村内五か所の投票所において、県民の暮らしを託す投票が一斉に開始

開票作業は、午後七時より村民センター大集会室で始まり、午後八時投票結果が発表。確定数字では、前日有権者数二千六百九十人のうち、投票総数二千

梶原知事は二期目。一期目の「夢おこし」から「夢そだて」へと「日本一住みよいふるさと岐阜県づくり」に向けて県民の大きな期待が寄せられています。

「夢そだて」！ 梶原県政二期めに期待

恒例になっている新春将棋大会

大会が、体を使つての汗のかき初めならば、あの手、この手と相手の先手を読みながら行う将棋、囲碁の大会は、まさに頭を使つての冷や汗のかき初めといったところでは、ないでしょうか。



将棋大会、真剣なまなざし

九人が参加。人数が少なめということもあり少々寂しい感じの

良く響いていました。

会と囲碁大会が一月三日、愛好者のみなさんを集め村民センターで開かれまし

今回で十五回めを数える将棋大会には、愛好者ら八人が参加し、老人の部屋で対局。親睦が目的のこの大会、パチンパチンと碁を打つ音が心地

する大会となりましたが、会場となった村民センター婦人の部屋は熱気に包まれ、白熱した対局が繰り広げられました。

◆将棋大会成績（敬称略）
優勝―河村政春・二位―安江勝哉・三位―河村繁治

また、囲碁大会は、愛好者ら八人が参加し、老人の部屋で対局。親睦が目的のこの大会、パチンパチンと碁を打つ音が心地

図書コーナー

風になった忍者



広瀬 寿子著

ちょっと悲しい始まりではあるけれど、マーくんの中の中では死んだお兄ちゃんが生き続けていくだろうという安心感があった。あの忍者はお兄ちゃんだったのだろうか。

推薦人（22歳 女）

ボク、ただいまレンタル中

子供の本でありながら、老人達の戦争への心の傷の深さ、実際に現代社会がかかえている問題が見えな

推薦者（27歳 女）

長崎源之助 著



子ども・家庭電話相談について

「子ども・家庭電話相談室」では、子ども自身からの不安や悩み事、保護者等の方からのしつけ、障害、非行、教育、養育その他子どもに関するあらゆる相談を専門の相談員が受けています。

〈電話番号〉〇五八二（七六）四一五二（中央児童相談所内に設置されています）

〈相談時間〉月曜日～金曜日午前八時四十五分から午後九時まで。土曜日・日曜日・祝日・年末年始は留守番電話です。

岐卓県勤労者教育資金

融資制度について

- 融資対象 県内に居住する勤労者のうち、自己またはその子弟が高校・大学などに進学する際に必要な資金
- 融資限度額 一〇〇万円
- 融資利率 五・七三割（但し、金融情勢により変動）
- 融資期間 五年
- 申し込み 岐阜県労働金庫美濃加茂支店 〇五七四（二五）〇〇七七

網

実力伯仲！

中谷・加舎尾・西洞総合初V^{ファイ}



中には、こんなシーンも……

朝から小雪の舞う日となった一月二十四日、東白川小学校体育館を会場に「第六回村民ふれあい綱引き大会」が開かれ、総勢五十二チーム約六百人の選手が参加して、寒空を吹き飛ばすかのような熱戦を展開しました。試合は、昨年、一昨年と総合準優勝に涙を飲んだ中谷・加舎尾、西洞チームが二階級を制覇し初優勝。過去五回の大会で、下親田以外のチームが優勝することは初めて。また、種目別でも各部門の入賞が分散するなど大会前の練習と研究の成果が発揮された大会となりました。

▼種目別成績 ☆総合優勝—中谷・加舎尾・西洞(初) 準優勝—大明神

	無差別級 男子	無差別級 女子	35歳以下 男子	35歳以下 女子	49歳以下 男子	49歳以下 女子	50歳以上 男子	50歳以上 女子
優勝	上・下親田	大明神	陰地	中谷・加舎尾・西洞	大明神	中谷・加舎尾・西洞	大明神	中通・神付
準優勝	中通・神付	中谷・加舎尾・西洞	栃山・黒淵	上・下親田	曲坂・日向	平上	中谷・加舎尾・西洞	平上
3位	大沢・下野久須見	大沢・下野久須見	中通・神付 中谷・加舎尾・西洞		中谷・加舎尾・西洞			

本

結成30余年読書講座

「ふきのとう」表彰受ける



「先輩諸氏のおかげです」と喜ぶ桂川さん

読書講座「ふきのとう」(講座長桂川房さん)が、去る十一月開催された第三十二回岐阜県読書大会において、優良読書団体として表彰を受けました。

結成して三十年を超えるという歴史あるこの講座。現在会員数二十名。文学散歩や月毎にテーマを決めた読書などの活動から越原、五加の地域文庫の貸し出しボランティアなどの活動まで幅広い活動内容が高い評価を受けたものです。

工事入札の結果

①は入札期日②は落札金額および落札業者
▼老人憩いの家新築工事
①十一月二十七日②四百四十二万九千円、東白川木造建築協同組合
▼基幹農道神主線改良工事
①十二月十四日②四千八百二十万四千円、山田土建㈱
▼支線農道柄溪線改良工事
①十二月十四日②二千九百六十六万四千円、丸登建設㈱

▼支線農道外出線舗装工事
①十二月十四日②一千四百四十二万円、西野建設㈱
▼日向本線改良工事
①十二月十五日②三千六百七十七万一千円、(有)立保土木
▼上親田・日向防火水槽建設工事
①十二月十五日②七百九十八万二千五百円、新田建設
▼美しい村づくり公園整備第一期工事 ①十二月十五日②六百九十五万二千五百円、山田土建㈱
▼井ノ平線防護柵設置工事

①十二月二十一日②三十三万二千八百二十円、丸登建設㈱
▼東白川簡易水道浄水場建設一号工事 ①十二月二十八日②四千八百九十二万五千円、理水化学㈱名古屋営業所
▼東白川簡易水道浄水場建設二号工事 ①一月八日②九千二百五十五万五千円、安田(岐阜市)・山田・マルト・新田建設工事共同企業体
▼栃山防火水槽建設工事
①一月二十日②四百二十二万三千元、(有)立保土木

定寄付金

現金五万円 村雲鯛三(下親田)

【社会福祉協議会へ】

現金一万円 安江力男(下野)

現金五万円 古田末吉(平)

現金五万円 林昇(大明神)

現金十万円 今井菊夫(大沢)

現金五万円 安江祐之(大明神)

現金十万円 古田澄雄(上親田)

【神土保育園へ】

わらざり六十足 古田かつの(上親田)

【五加保育園へ】

バス停さぶとん二枚 野村琴江(柏本)

このコーナーの子ど
もたちみな同い年。
10年後、20年後「広
報」をみればわう！
1歳のあの子の顔が……



▲稲垣奈緒ちゃん

(隆さん・初美さん長女＝陰地)

満1歳



今井輝久さん・美和さん

この写真は引き
のばしてお二人
に進呈します。

ふれあい広場

新婚さん♡

■ワン・ショット■

「いつも
おにい
ちゃん
って
呼んで
るん
です
よ」と
話して
くれ
たのは
奥さん
美和さん
今月ご
紹介す
るカッ

ブルは、十二月六日に結婚式を挙げられた今井輝久さん美和さんご夫妻(平)。
一年半の交際を経てゴールインしたお二人、なれそめは共通の友人の紹介だとか。初めて出会った日にすっかり打ち解けたそうです。「料理が上手で、よく気がつくところ」とご主人が奥さんを評せば「やさしくてかわいところ」と奥さんも本音をチラリ。
白川町出身のご主人輝久さんは、長男と長女の結婚ということもあって結婚までにはいろいろと悩んだこともあったようですが、今は一日でも早く東白川の住民になりたいとか。
「子どもは三人。でも男の子が生まれるまでは……」とすっかりあてられっぱなしの取材となりました。

▽雪掻き

ふるさと生活史

10

道具には生活様式の変化によって必要がなくなり消えて行くものと、新しい技術や材料の開発などによって改善され、型を変えたりするものの二通りがあるようです。

今回のテーマ「雪掻き」は後者に属します。

現在中高年の人達が小さいころには雪掻きは子供の仕事。たてよ四十センチ程度の木の板に長めの柄を付けた「雪掻き」という道具で、ガラゴロガラと音を立てながら雪を押して行く。

しかしこれがなかなか重い、おしまいには板が湿ってくる、湿った板に雪が付く。トントンと角を地面に打ちつけて雪を落としながら何回も何回も往復したものでした。

時代が進むとプラスチック製が登場して来ます。

これは軽いすべりも良い、色も赤や青とカラフルです。け

れど寒さの中ではプラスチックは壊れやすく丈夫さでは板の方が上ようです。
このプラスチック製は型が改善され手押し式も生まれました。これは雪を乗せる板の部分も大きく柄も両手で押せるようになって、だいぶ能率が上がりました。

ここまでのところはすべて動力源は人力ですから雪掻きの範囲も家の周辺に限られます。

このごろのように道路が多くなるととても人力では追いつかないと考案されたのが軽トララックの後につけて引く張るやつです。これは道具としては簡単な構造で鉄製の板を三角にくっつけたもので、その三角の頂点を前にして引く張れば、雪は自然に道路の両わきへ寄せられて行きます。

もちろん手作りのこの道具も出番が少ないのは暖冬のせい





今、成人となって

安倍健一郎（西洞）

毎年、一月十五日という、

ニュースや新聞などでは、

成人式の報道がされま

す。今まで私は、そ

の画像や記事を見て

二十歳になるとき

人というのはどう

変わるのだろうか

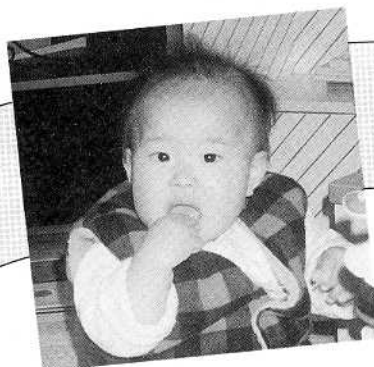
と、よく考えたもので

す。そして、今回は、自分達

がその立場となった訳ですが、

率直な感想と言えば、自分自

身に特に顕著な変化というも



▲安江千菜子ちゃん

（雅彦さん・千佳子さん長女＝柏本）



またまた、ツチノコそ
っくり野菜。このサツマ
イモ、岐阜市産。東白川が
「ツチノコ村」だからと陰
地の安江正雄さんに預けられ
たもの。首(?)をもたげた姿がなん
ともいえず……。



のではないにしても、何らかの目
的と責任、そして、信念を貫く
意思を持ってこれから生活して
いかなければいけないという決
意のようなものを感じました。
また、今回の成人式では、様々
な場所で頑張っている同級生の
みんなと久しぶりに会う事が出
来ましたが、皆が皆、しっかり
とした考えを持って日々努力し
ているという話を聞き、みんな
が、二十歳なりに、様々な苦勞
や経験をして、責任ある大人に
一步一步近づいている事を身に
しみて感じると同時に、こんな
所からも大人になる素晴らしさを



代表で成人証書を受ける安倍さん

元気です！

働く
お年より

畜産

「朝、もうちょっと寝とりた
い」と思っても相手は生き物、ず
くを抜かいたるわけにはいきま
せんよ」と話してくれたのは、
明治四十五年生まれ、この一月
に八十一歳になった高井武さん
（中通）。高井さんのお宅では、
現在百二十頭を超える肉牛を飼
っています。
武さんの分担は、繁殖用（種
つけ用）の牛五頭と四年前から
飼い始めたという馬二頭の世話。
「朝七時と夕方四時、一日二回
のえさやりが毎日の日課。盆、正
月はもちろん一日の休みもあり
ません。つらいのはやっぱり夏
場ですね。えさ用の草刈りを天
気の限り朝から晩までやります。
それでも楽しいからこの仕事を
続けるんですよ」。
武さんの牛とのつきあいは古
く、戦後まもなく農耕用の牛を
一頭飼い始めたことを皮切りに、
途中から肉牛に転向。昭和五十



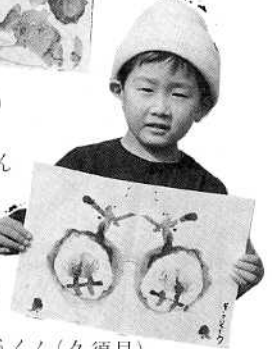
今日も牛たちは武さんを待っています

三年ころから規模を拡大し、
現在に至っているとのこと。
「体はいたって健康です」
と話す武さんの今一番の楽
しみは、何といっても乗馬。
「馬はかわいいですよ。う
ちに来て四年になるから気
心もすっかり知れて……止
まれ」といえば止まるし、「進
め」といえば進む。馬はりこ
うだからようわかつとる」とご自
慢の馬の話。
この乗馬はもちろんですが、
武さんの趣味は多彩で、「頭の運
動」とおっしゃる将棋もその一
つ。また、週二回の練習は、雪
が降ろうと雨が降ろうと必ず出
るといふゲートボール。どうや
ら、こうした頭を使ったり体を
使ったりする多彩な趣味が武さ
んの健康の秘訣のようです。

わたしの作品



▲絵の具あそび
(デカルコマニー)
五加保育園
むらくもいっぺいくん
(柏本)



絵の具あそび
(デカルコマニー)
五加保育園
ふたそういちろうくん(久須見)

お正月

▲東白川小学校
3年生
古田尚子さん
(西洞)

東白川小学校4年生
服田健太郎さん
(平)

美しい空

四年 服田健太郎

▲「さみしい手」
東白川中学校2年生
村雲悠紀さん
(中谷)



▲「苦しんでいる手」
川中学校2年生
今井安和さん(宮代)

広報文芸

●短歌

(広報に一年余投稿された安江富枝さんが他界されました。謹んでご冥福を祈るとともに最後の投稿を掲載します。)

味飯の牛蒡のかをり部屋にみちて夕餉の膳に飛驒蕪紅し 故安江 富枝
●新調の地下足袋下ろし今年また破けしリュックを背に 安江 香
山初じむ

かがり火を囲んで御神酒頂けば笑声立つ年頭の宮 安江 幸
靴ぬぎて神前の庭に額づけは清しき藁の温み伝ひ来る 今井 かな
●春日影あまねく及ぶ緑側に夫の書く喜寿の墨の香匂ふ 安江 澄
雪深き御嶽の山は定まらず時折晴れてその姿見す 安江 龍玉

冬枯れを鶴の来て花の根に掛けし糞蹴散らして喰む 安江 節子
朝夕は振庄針の按摩して暮し支える身を養ひぬ 安江 守平
足の怪我悪化させたり無理をしてゲートボールに 安江 すみよ
ゆきしばかりに

新春の夜の列島かけ巡る目出度きニュースに喜びの湧く
(皇太子妃内定)

寒風に軒の干柿小鳥らに喰ひ散らされて蒂のみ残る

●一様に傾きて立つ松並木能登の海風荒ぶ様見ゆ

引潮のごと正月の客帰り布団乾し終えて大の字となる

せわしなく水溜りつつ河鴉小雨降る中瀬を移りゆく

古里に雪近からむしきり吹く木枯の音い寝がてに聴く

山坂を幾つ越え来て夫と吾今を謝しつつ金婚迎ふ

ソマリヤに声して呼べ飢しよ腹がへっては戦が出来ぬと小池 弘子

庭先の晩菊手折り器に盛りぬ来る人待つ時の静けさ 小林 道子

快晴の空仰ぎつつ元旦を洗濯物干す吾いじましき 伊藤 美枝

恐らくはこれが最後の西年と心あらたに年神迎ふ 伊藤 重雄

あなたの作品をお寄せください。初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。●偶数月の二十日までに神土伊藤重雄宛に出して下さい。



こぼれ話

人面接
するなど
という柄
でも無
いの
に、
昨年と
今年

二人の若い女性を面接する機会があった。▼一人は保母さん。「なぜこの仕事を選びましたか？」というお定まりの質問に、「小学生のころから保母さんになりたいと思っていました。」その気持ちをずっと変えないで中学から高校へ、そして短大で保母資格を取得。丸っこい顔に瞳が輝いていた。▼もう一人は社会福祉主事。やはり短大の社会福祉コースを卒業、子供のころからの夢を現実のものにして、いま精進の介護に尽くしている。▼ひきくらべて、面接する立場の自分が情けない。自分はこういう仕事をしたい」と目的を持って今まで生きて来たのか？自分の気持ちに正直で、自分の意志のとおりに頑張つて、いきいきと働いている彼女たち、その人生の年月は自分の半分にも満たないのに、その充実ぶりには負けた……。▼二人に共通する瞳のキラキラに負けた。